

退任挨拶



前沖縄県医師会 監事
(医療法人しだかじ きなクリニック) 喜納 美津男

この度、6年間にわたり務めさせていただきました沖縄県医師会監事を退任する運びとなりました。役員の皆様、そして事務局の皆様には、大変お世話になり心より感謝申し上げます。

コロナ禍の影響もあり、直接的な交流が少なかったことは残念ではありましたが、毎週開催される理事会を通じて、これまであまり関わることのなかった県医師会の事業について当初は膨大な量に戸惑いながらも、多くを学ばせていただきました。この経験は今後の糧とさせていただきます。

任期中、特に大きな出来事として、新型コロナウイルス感染症対策と能登半島地震がありました。コロナ禍においては多くの医療機関が一丸となって対策に取り組みましたが、その旗振り役として、毎日の様に諸策を練り、対応に尽力しました。

また、能登半島地震においても、いち早く支援に乗り出し、県医師会役員、事務局の総出での取り組みが沖縄県のみならず本土の災害対策支援にも大きな役割を果たしたことは誇らしく感じております。

私自身は在宅医療に取り組みながら、那覇市医師会の在宅推進事業にも深く関わってまいりました。現在、超高齢社会に向けた課題は山積しており、那覇市医師会の在宅関連事業も年々その重要性が増してきております。在宅医療の普及がまだまだ進んでいない現状を鑑み、高齢者の増加に対応するためには一層の努力が必要と痛感しております。そのため、県医師会役員を辞し、在宅医療・介護連携推進をはじめ、那覇市医師会の事業により一層力を注ぎたいと考えております。

また、私事ではありますが、理事会の開催される火曜日が空いたことで、趣味の合唱にも力を入れてみたいと思っております。

これまでの3期6年間、大変お世話になりました。次期監事の豊見山直樹先生にバトンタッチいたしますので、何卒よろしくお願いいたします。

県医師会への直接的な貢献は充分ではなかったかもしれませんが、今後も在宅医療分野において引き続き関わっていききたいと思います。

最後に、今後の県医師会の執行部、そして職員の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

